

Number 253, 2015/3/31

Infection Control Team

勤医協中央病院 感染対策チーム 発行責任者: 剣持喜之

## 「ヘキサック AL 1%OR 綿棒 16」を導入します!

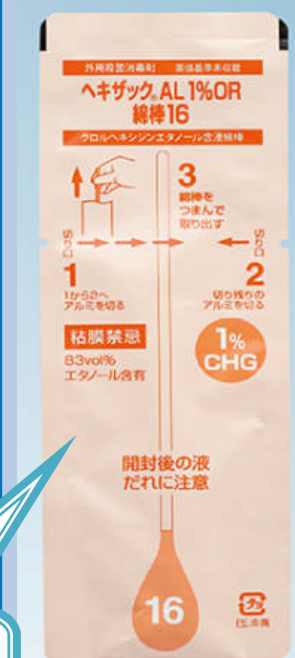
既に中心静脈カテーテルなどの挿入時の消毒には、1%のクロルヘキシジングルコン酸塩エタノールを使用していますが、今後は、下記の消毒の際にも、同じ消毒液の綿棒を使用して下さい。

2002年に発表された Chaiyakunapruk によるメタアナリシス\*によると、クロルヘキシジンはポビドンヨードと比較してカテーテル関連血流感染のリスクを51%減少させると報告されています。また感染率が低下することによって医療経済効果も期待できることも報告されています。

(\*メタアナリシス: 過去に行なわれた複数の研究結果を統合し、より信頼性の高い結果を求めること、またはそのための手法や統計解析のこと。)

ヘキサック AL 1%OR 綿棒 16は、 下記の消毒の際、ご使用下さい。	
刺入部の皮膚消毒	検体採取時の皮膚消毒
硬膜外チューブ、 中心静脈カテーテル、 透析カテーテル	血液培養検査

ヘキサック AL 1%  
OR 綿棒 16



禁忌; 損傷皮膚及び粘膜への使用  
詳しくは添付文書参照

外科の創部の消毒にも使用できません。

「アルコール禁」の人には、  
今まで通りイソジン綿棒を使用して下さい。

皮膚についた色は、  
アルコールで  
取れます。

**2015年4月1日開始、発注先は、薬剤部**です。

消毒請求伝票を使用して下さい。

ICT

院内感染はスタッフの力で予防できる疾患です。

TEL 011-782-9111 (内線 2208 感染制御室内) FAX 011-783-3229